

平成 1 6 年度事業報告

自 平成 1 6 年 4 月 1 日

至 平成 1 7 年 3 月 3 1 日

概 況

長らく続いた経済の低迷もようやく底を打ったかに見受けられるところですが、依然として我々を取り巻く環境は、厳しい状況といえます。

このような中、当センターは会員諸氏の共働共助の精神により、積極的にセンター事業への参画がなされるとともに就業活動も拡大いたしました。さらに、会員ひとりひとりの意識の向上により、センターの組織運営の充実が図られ、様々な事業成果を挙げることが出来ました。

平成 1 6 年度の事業実績は、契約金額 13,275 万円と前年対比 2.4%の増でしたが、配分金額は 11,324 万円と前年と同額となりました。受注件数は 1,604 件で 38 件の減少というものでした。

しかしながら、昨年度は新しいセンター事業の開発という試みから、ダンス教室や書道教室、パソコンサロンなど会員を主体とした新しい形の事業を行うなど、発展的な事業を展開しました。この取組は、今後の事業運営において発展的な可能性を秘めたものといえます。

以下、平成 1 6 年度事業計画に基づき、実施した事業について報告します。

事業報告

(1) 会員について

入会説明会を定着化し、センターの基本理念や趣旨の理解をいただくとともに、センター内容の理解を促し、会員の拡大を図りました。

また、地域班長の協力を得て、全会員を対象とした地区懇談会を開催し、班組織の充実を図り、会員同士の意見交換やセンターに対しての連絡など、センターとの関係強化を密接なものとしたしました。

さらに会員情報紙の配布により、センター情報を広く周知いたしました。

(2) 就業について

ダンス教室やパソコンサークルなど、会員の自主・自立による事業を創設し、会員主体の運営事業の拡大を図りました。

また、産業祭では職域班の協力により手工芸品販売やブリクラ作成、宝探しゲーム等多彩な事業を催しセンター P Rを行うとともに、就業の拡大を図りました。

就業機会の公正、公平を図るため会員の理解のもと初めて長期就業者の就業交替を行い、未就業会員に就業提供を行いました。

(3) 事業について

センター P Rの一環として「大風揚げ祭り」や「産業祭」などイベント開催時に、再生自転車の販売やリーフレット・ポケットティッシュを配布し普及啓発に努めるとともに、宝探しゲームや障子張りの実演により集客を図り、参加会員によってチラシを配布

するなど多彩な試みを行い、全員参加で事業の拡大を図りました。

さらに、シニアワークプログラム事業や各種技能講習会を開催し、技能の向上に努めました。

また、地域に根ざしたセンターとして積極的にボランティア活動を行いました。

(4) 組織について

理事会を毎月開催し、理事を中心としたセンター運営を推進し、理事会組織の充実を図るとともに、専門部会とも連携し、役員組織の効率化を図りました。

地域班長・職域班長の協力を得て、班長とセンター会員との連携を図り班組織を有効に機能させることにより、センターと会員間の連絡が密になり就業体制が整備されました。

(5) 安全について

安全管理委員会を中心に安全就業について多方面から研究するなど組織的な活動を行い罰則規程を設けるなど安全就業規程の一部改正を行いました。

さらに、作業別安全就業基準や事故事例をなごみに掲載し会員への安全に対する意識づけを徹底しました。

また、安全就業月間を設け標語等を募集するなど会員と一体化した取組を行い、会員ひとりひとりの意識の向上を図りました。

(6) 統合準備

センターの統合に向け、理事同士による協議会を設置し組織化を図るとともに、行政を交えた事務研究会を開催し事務レベルの調整を行いました。

(1) 総務企画部会

毎月第 2 火曜日に定例会を開催し、町内広報紙とした「よろこび」を 4 月と 1 0 月に発行（発行部数 11,000 部）しました。

また、地区懇談会、ボランティア活動の推進、イベント事業への参画などに取組ました。

地区懇談会実施状況

区分	参加人数	開催日	開催場所
第 1 地区	8 9	平成 16 年 7 月 27 日	社会福祉センター
第 2 地区	5 8	平成 16 年 7 月 29 日	正風館
第 3 ・ 第 4 地区	3 6	平成 16 年 7 月 23 日	北公民館
合 計	1 8 3		

ボランティア活動実施状況

区分	参加人数	開催日	開催場所	内容
第 1 地区	3 0	平成 16 年 9 月 28 日	しょうぶ苑	除草・清掃
第 2 地区	3 1	平成 16 年 6 月 29 日		
第 3 地区	1 5	平成 16 年 6 月 29 日	芦橋花壇	除草
第 4 地区	1 4	平成 16 年 9 月 28 日		
合 計	9 0			

(2) 事業部会

毎月第 2 火曜日に定例会を開催し、会員間の公平公正な就業機会を確保するため、就業指針の遵守や交替要綱の推進に努めるとともに、各種講習会を開催し技能の向上を図りました。

また、会員相互の連帯と連携を密に図るため、互助会活動を通して旅行や懇親会を開催しました。

講習会実施内容

シニアワークプログラム（パソコン講習会）

区分	参加人数	開催日	開催場所	内容
第 1 回	2 0 (内会員 4)	平成 16 年 6 月 16 日 平成 16 年 6 月 17 日	正風館	初心者向けインターネット・メール体験
第 2 回	2 0 (内会員 3)	平成 16 年 11 月 11 日 平成 16 年 11 月 12 日		

シニアワークプログラム（剪定講習会）

参加人数	開催日	開催場所	内容
30(内会員 23)	平成 16 年 5 月 26 日 平成 16 年 7 月 28 日 平成 16 年 9 月 22 日 平成 16 年 12 月 22 日 平成 17 年 2 月 24 日	上柳地内	樹木剪定

料理教室

区分	参加人数	開催日	開催場所	内容
第1回	12(会員)	平成16年6月17日	正風館	高齢者用料理
第2回	23(会員)	平成17年2月17日		

除草講習会

区分	参加人数	開催日	開催場所	内容
第1回	19(会員)	平成16年11月24日	庄和町中野公園	ハンドガイド式 草刈機械操作
第2回	13(会員)	平成17年1月20日		

親睦事業実施内容

区分	参加人数	開催日	開催場所
日帰り旅行	68	平成16年6月25日	群馬県沼田方面
一泊旅行	36	平成16年11月18日・19日	福島県松川浦温泉
新春懇親会	106	平成17年1月28日	庄和町社会福祉センター

(3) 就業開拓部会

毎月第2水曜日に定例会を開催し、新規事業の企画・立案を行い新事業立ち上げまでのサポートを行いました。

また、就業機会の拡大を図るため、就業創出員の活動を生かし新規発注者の開拓に努めるとともに、あらゆる機会を通じて普及啓発に努めました。

就業創出員活動実績

訪問件数	面談件数	注文件数	契約金額
6,014 件	68	45	717,014 円

(4) 安全管理委員会

委員会を定例開催し、安全就業巡回指導結果をもとにした安全対策について検討しました。また、安全就業規程を一部改定し、安全就業義務違反者に対する処罰規程を策定。違反者に対する警告書の交付及び就業停止を安全管理委員会において実施することにいたしました。

職種別安全就業基準の周知と遵守の徹底を図るため、地区懇談会、職域班長会議において説明会を実施しました。

安全管理委員及び安全推進委員が会員の就業現場を巡回し、安全な就業環境の確保及び安全保護具の着用状況についての指導を行うと共に、安全就業強化月間においては、安全リボンの着用を促し、会員の安全就業に対する意識の高揚を図りました。

安全就業巡回指導

	主 な 巡 回 先	延べ巡回回数
剪定作業	お得意先のご家庭	110回
植栽作業	総合公園・浄水場・ほか各現場	
その他	公共施設窓口管理ほか	

安全就業強化月間
7月・9月・12月

入選標語

賞 位	入 賞 作 品	入賞者
最優秀賞	おはようと交わす笑顔に待つ安全	高橋 義雄
優秀賞	帰り道 急ぐ気持ちが 事故を呼ぶ	高橋 淳庫
優秀賞	安全作業の確認は やる前 やる時 やった後	北見 昭治

ヒヤリ、ハットの体験談の特別賞受賞者 3名
稲葉 明正・植竹 實・清水 貞子

平成16年度の事故発生状況

区 分	件 数	発生状況	補償額
会員傷害事故	1件	就業中	21千円
賠償事故(物損)	6件		206千円
合計	7件		227千円

3年間の事故件数の推移

平成14年度：18件・平成15年度：6件・平成16年度：7件